



2月の校長講話 ～相手の気持ちを想像しよう～

最近、校長先生には気になる事があります。

それは、自分の心と友だちの心、どちらも大切にできているかな？ということなのです。

ある時、『校長先生！』と二人の人が校長室に駆け込んできました。「どうしたの？」と聴くと、『昇降口のガラスが割れそう。どうしよう！』というのです。校長先生は何がおこったのだろうと思い、昇降口に行きました。雪玉を作り、昇降口から出てくる友だちに投げている人がいました。雪玉を投げている人は雪合戦をしたかったのでしょうか？誰かに雪玉を当てて遊びたかったのでしょうか？

しかし、校長先生に知らせに来てくれた人は、昇降口に向かって雪玉を投げたら、ガラスが割れてしまうかもしれないこと、雪玉が校舎の中にどんどん入ってしまい、そこを通った人が滑って転んでケガをしてしまうかもしれない、雪玉がとっても堅かったので、当てられた人はケガをするかもしれない、顔に当たったらかなり痛い……

そんなことまで想像してくれて、自分でも注意したけれど聞いてもらえず、校長先生に伝えに来てくれたのだと思います。

学校は、ひとりひとりちがうみんなが、笑顔で、幸せな気持ちで楽しく生活できる場所であって欲しいと思っています。自分では学校生活が充実している、楽しく生活できているという事はわかりませんが、友だちが毎日、学校生活を楽しめているかどうかはわかりません。心は目には見えないから。だから、みんなが笑顔で、幸せな気持ちで楽しく生活するためには、校長先生に伝えに来てくれた人たちのように、【相手の気持ちを想像する】ということがとても大切です。

あるレストランで実際にあったお話です。

2人連れの若いご夫婦が食事にやってきました。ウェイトレスが2人を2人がけのテーブルに案内し、メニューを渡しました。2人はそれぞれ、Aセットと、Bセットを一つ注文しました。オーダーが終わった時、奥様が追加注文されました。

「お子様ランチを一つ下さい」と…。

もちろん、遅れて子どもさんが店に入ってくる様子はありません。ウェイトレスは、「お客様、誠に申し訳ありませんが、お子様ランチは小学生のお子様までと決まっておりますので、ご注文はいただけないのですが…」と丁寧に断りました。

2人は顔を見合わせて複雑そうな、残念そうな表情を浮かべました。その表情を見てウェイトレスは「何か他の物ではいかがでしょうか？」と聞きました。すると、2人はしばらく顔を見合わせた後、奥様が話し始めました。

「実は今日は、昨年亡くなった娘の誕生日なのです。私の体が弱かったせいで、娘は最初の誕生日を迎えることができませんでした。子どもがおなかの中にいる時に夫と『3人でこのレストランでお子様ランチを食べようね』って言っていたのですが、それも果たせませんでした。子どもを亡くしてから、しばらくは何もする気力もなく、最近やっと落ち着いて、亡き娘にディズニーランドを見せて、3人で食事をしようと思ったものですから…」

その言葉を聞いたウェイトレスは、2人を4人掛けのテーブルに案内しました。仲間に相談して全員の賛成を得て、お子様ランチのオーダーを受けました。そして、小さな子ども用の椅子を持ってきて「お子様の椅子はお父様とお母様の間でよろしいでしょうか。」と椅子をセットしました。

数分後、「お客様、大変お待たせいたしました。お子様ランチをお持ちしました。どうぞ、ご家族でごゆっくりお楽しみ下さい。」と、ウェイトレスは伝えました。

数日後、若いご夫婦から感謝の手紙が届きました。「お子様ランチを食べながら、涙が止まりませんでした。こんな体験をさせていただくと、夢にも思いませんでした。これからは、涙を拭いて前向きに生きていきます。また行きます。今度はこの子の弟か妹を連れて…」

お話しの中のウェイトレスさんは、ご夫婦の話を聴いて、様々なことを想像したに違いありません。

「ようやく子どもが生まれたときのご夫婦の喜び」「1歳にならずに、子どもさんが亡くなったときの悲しみ」「しばらくは、何もする気になれなかった思い」「今日、ご夫婦でレストランに来たときの気持ち」「決まりですからお子様ランチは出せませんと言ったら、ご夫婦はどう思うだろうか」

「お子様ランチを出してあげたら、ご夫婦はどう思うだろうか」

仲間と相談して、想像したに違いありません。そして、こんなに優しい答えを出したのです。

やさしさは、想像することから生まれます。「この人は、どんな気持ちなんだろう」「私がこうしたら、どんな気持ちになるだろう」「どんなふうに言ったら、うれしい気持ちになれるかな」相手の気持ちを想像すると、どうしたらいいか分かってきます。全校のみなさんがお友達の気持ちを考えて、想像して生活していたら、きっと嫌な思いをさせたり、いじめをするなどということは起きないと思うのです。青木小学校のみなさんには、ぜひ相手の気持ちを想像する力をつけて欲しい。そして、自分の気持ちを伝えるときも、こんなふうに伝えたら、友だちも気持ちいいだろうなどと想像して伝えてみましょう。そして、みなさんが学校生活を明るく楽しく幸せに過ごして欲しいと願っています。

2月の青木小学校

青木村民俗資料館， 五島慶太未来創造館見学（3年生） 2/2

3年生は青木村の民俗資料館と五島慶太未来創造館で学習しました。
杵掛教育長に詳しい説明をしていただきました。

民俗資料館には、昔の道具がたくさん展示してあり、子どもたちは興味深く見学していました。子どもたちが特に印象に残ったものは『三輪自動車（ミゼット）』と『テレビ』です。現在の自動車やテレビと比較し、違いを見つけ出していました。道具の進化を感じることができたと思います。

五島慶太未来創造館では郷土の偉人、五島慶太について学びました。

殿戸の生まれで、日本の産業の発展に尽力した人が青木小学校の先輩だということに驚いていました。



中学校紹介（6年生） 2/7

来年度、中学生になる6年生は、青木中学校の後藤校長先生から、青木中学校の様子や中学校で大切にしていることを拝聴しました。特に心に残ったのは『失敗の安心体験』です。入学したら、学習や部活動など、様々なことに挑戦していく決意をしました。先輩である中学1年生が制作した学校紹介ビデオもわかりやすく、入学後のイメージをふくらませることができました。6年生にとっては、希望がわいた日でした。

6年生の登校日も残り少なくなってきました。
一日一日を大切に過ごしてほしいです。



中学校の後藤校長先生のお話

今年度の非違行為防止研修

月一度、放課後の時間を利用して、職員は非違行為防止研修を行っています。
やってはいけない非違行為として、体罰・暴言・わいせつ行為・酒気帯び運転等の交通違反・個人情報の紛失など、事例を元に研修をしてきました。

非違行為は、起こしてしまった本人だけでなく、家族、職場の同僚だけでなく、子どもたちにも大きな影響を与えてしまいます。

そのようなことがないように、研修を通して考えたことを実行に移して参ります。

『すべては子どもたちの笑顔のために』

【3月の予定】

3（木）学期末清掃（～15日）
7（月）児童会①
地区子ども会正副会長会
9（水）登校班確認の会
11（金）ワックスがけ②

16（水）3学期終業式
17（木）卒業証書授与式
18（金）春季休業
（～4月5日まで）
25（金）新年度準備登校
（新5，6年）



◆新型コロナウイルスが流行しています。行事等、変更の可能性もあります。
その際は、通知やオクレンジャーにてお知らせいたします。